

はこだて 国際科学祭 2020

すこやかさというたからもの

全イベントがオンライン開催！

<https://sciencefestival.jp/>

8/22(土) ▶ 8/30(日)

プレイベント: 7/19(日) ▶ 8/20(木)

ポストイベント: 9/6(日) ▶ 9/13(日)

◆主催

サイエンス・サポート函館

※サイエンス・サポート函館参加機関:

函館市 函館市教育委員会

公立はこだて未来大学

函館工業高等専門学校

北海道教育大学函館校

北海道大学大学院水産科学研究所・大学院水産科学院

キャンパス・コンソーシアム函館

(一財)函館国際水産・海洋都市推進機構

(公財)南北海道学術振興財団

◆後援

北海道 北斗市 北斗市教育委員会 七飯町 七飯町教育委員会

北海道新聞社 函館新聞社 朝日新聞社函館支局

日本経済新聞社函館支局 毎日新聞函館支局 読売新聞函館支局

NHK 函館放送局 HBC 函館放送局 STV 函館放送局 HTB 函館支社

UHB 北海道文化放送 TVh テレビ北海道 NCV 函館センター FMいるか

(一社)函館国際観光コンベンション協会 (公財)函館地域産業振興協会

産学連携「クリエイティブネットワーク」

◆技術協力

UDトーク*

はこだて国際科学祭では、
コミュニケーション支援アプリ「UDトーク」による音声認識技術を活用したリアルタイム字幕を提供し、トークイベントの「見える化」を目指します。

◆協力

(国研)科学技術振興機構 (JST)

◆協賛

 明電舎

◆お問い合わせ

サイエンス・サポート函館 事務局

〒041-8655 函館市亀田中野町116-2 公立はこだて未来大学内

TEL: 0138-34-6527 (平日 9:00-17:00)

FAX: 0138-34-6564

メール: info@sciencefestival.jp

<https://www.sciencefestival.jp/>



オープニングイベント

◇サイエンスダイアログ

なぜ私たちはニセの健康情報を信じてしまうのか —疑似科学を解き明かす心理学—

8/22± 17:00-18:30

オンライン (YouTubeライブ) で開催予定

◇出演者：菊池 聡 (信州大学人文学部 教授)

◇主催：サイエンス・サポート函館



◇対象：高校生以上 (ガッツのある中学生を含む)

◇参加費：無料

◇定員：100名

◇申込方法：後日、専用サイトにて事前申込

私たちの社会には、科学の装いをしながらも科学とは呼べないもの (疑似科学) がたくさんあります。また科学と疑似科学のあいだには、微妙なグレイゾーンが広がっています。新型コロナウイルスに関しても、皆さんは疑似科学的な話題やフェイクニュースを見聞きすることがあるでしょう。

そこで今年のサイエンスダイアログでは、疑似科学にひかれる人々の心理をめぐる複数の著書のある認知心理学者、菊池聡さんを話題提供者にお招きします。菊池さんは、「疑似科学の問題を考えることは、クリティカル・シンキング (批判的思考) の力を高めることにつながる」といいます。ニセの健康情報などを含めた疑似科学との向き合いかたについて、ご参加のみなさんとともに考えてみたいと思います。



北大早川研 x はこだてみらい館特別企画 語ろう! どうぶつ in 函館～サル編～

8/22± 10:30-12:00

オンライン (Zoomミーティング) で開催予定

◇出演者：早川卓志 (北海道大学大学院地球環境科学研究院 助教)

杉谷 実 (函館市熱帯植物園 園長代理) ほか

◇主催：北海道大学大学院地球環境科学研究院 早川研究室、はこだてみらい館

◇協力：サイエンス・サポート函館

◇対象：どなたでも

◇参加費：無料

◇申込方法：はこだてみらい館公式 HP
または
はこだてみらい館受付まで

函館の熱帯植物園には温泉に入ること有名なサル山があります。でも、野生のニホンザルは、函館はもちろん、北海道には生息していません。野生のニホンザルが暮らしている地域は本州から青森県から、九州の屋久島までです。なぜ野生のニホンザルは、北海道に暮らすとができなかったのでしょうか？地球規模で考えて、足元から行動しよう、という言葉があります。日本が、函館が、そして私たちひとりひとりが、足元からできることって何でしょうか？

サル山のニホンザルを見ながら、参加者のみなさんと一緒に語り合い、どうぶつたちの将来のこと、そして同じサルの仲間である私たち人間自身のことを、考えてみたいと思います。